

## 購入時のアドバイス

製品安全協会の定めた「家庭用の圧力なべ及び圧力がまのSG基準」に適合すると「SGマーク」が表示されるので、より安全に使用したい場合は「SGマーク」が表示された銘柄を選びましょう。

取っ手はなべを持ち運ぶ際のバランスに影響するので、実際に両手で持ち上げて確かめ、持ちやすく、安定感のある銘柄を選びましょう。

銘柄によって、使用できる圧力、容量、使用方法等が異なるので、取扱説明書や操作のしやすさ等を確認、自分に合った銘柄を選びましょう。

テスト結果については  
富山県消費生活センターホームページ内「新着情報」も参考にしてください。  
[http://www.pref.toyama.jp/branches/1731/pdf/H28syohin\\_test.pdf](http://www.pref.toyama.jp/branches/1731/pdf/H28syohin_test.pdf)

## 使用時のアドバイス

圧力なべは、高温高圧を利用した調理器具であり、使い方を誤るとなべの中身が飛び散ったり、火傷を負うおそれがあるので、取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用しましょう。

取っ手の温度が低くても、圧力なべ本体の温度は十分高温なので、火傷をしないようミトン等を使いましょう。

蒸気口からの蒸気は十分高温であり、触れると火傷のおそれがあるので注意が必要です。

圧力調整弁、安全弁等の目詰まりは、おもりが飛ぶ等の事故につながるおそれがあるので、使用前に目詰まりしていないか確認しましょう。

使用後は、パッキンを取り外して汚れ等を洗い落とし、傷や亀裂等がある場合にはすぐに取り換えましょう。

圧力なべの中身が飛び散る等のおそれがあるので、3分の2(豆類については3分の1)以上の内容物を入れて使用してはいけません。

## お問い合わせは

### 富山県消費生活センター

〒930-0805 富山市湊入船町6-7(富山県民共生センター1階)  
TEL(076)432-2949 FAX(076)431-2631  
富山県消費生活センターホームページ  
<http://www.pref.toyama.jp/branches/1731/1731.htm>

# 圧力なべ

2017

商品テスト情報

## こんな圧力なべをテストしました



圧力なべは、短時間で調理ができるだけでなく、最近では、比較的安価で様々な性能を持った製品が販売され、一般の家庭に広く普及しています。

一方で、「使用中に突然大きな音とともに中のものが飛び散って怖い思いをした。」「圧力なべのおもりが飛んでガラスが割れた。」等の相談も寄せられています。

このため、北陸三県(富山県、石川県、福井県)の消費生活(支援)センターが共同で、圧力なべの表示や安全性、加熱性能、使用性をテストしたので、その結果や購入時及び使用時等の留意点をお知らせします。



対象品は、ホームセンターやスーパーマーケット等で購入した6銘柄の圧力なべで、税込み1万円以内、定格容量(満水容量)は3~3.5Lを目安としました。

### 表示は...

圧力なべは使用時に高温高圧になることから、各銘柄の本体(ふた)及び取扱説明書には「取扱い上の注意」として、安全に使用するための内容が多岐にわたり記載されていました。

- ・空だきをしない
  - ・加熱状態では衝撃を与えない
  - ・使用前に圧力調整装置のノズルが詰まっていないことを確認する
  - ・なべに3分の2(ただし、豆類にあっては3分の1)以上の内容物を入れて使用しない
- 等が全銘柄で記載されていました。

家庭用品品質表示法雑貨工業品表示規程に定められている「表面加工、材料の種類、寸法、満水容量、取扱い上の注意、表示者名等」は、全銘柄でもれなく表示されていました。

国の定めた技術上の基準に適合していることを示す「PSCマーク」は、全銘柄で表示されていました。

圧力なべのような消費者の生命・身体に対して特に危害を及ぼすおそれのある製品については、「PSCマーク」がないと販売できない。

製品安全協会の定めた「家庭用の圧力なべ及び圧力がまのSG基準」に適合していることを示す「SGマーク」は、全銘柄で表示されていました。

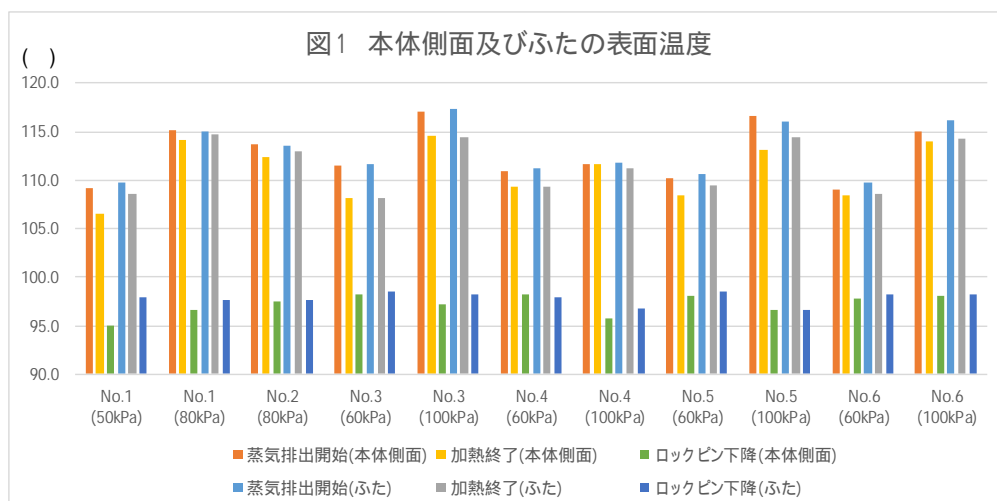
SGマーク制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度。

### 表面温度は...

電磁調理器(200V、60Hz)を用いて2L(20±1)の水を加熱したところ、本体側面及びふたの表面温度は、図1に示すとおりでした。蒸気排出開始までに全銘柄で100を超えており、特に高圧側(No.2は80kPaのみ)では、全銘柄で110を超えていました。加熱を止め、ロックピンが下降し、ふたの開閉が可能となった時点でも表面温度は全銘柄で95を超えていました。

ふた取っ手(上側)の表面温度は、どの段階でも温度上昇は小さく、全銘柄で20~30程度でした。

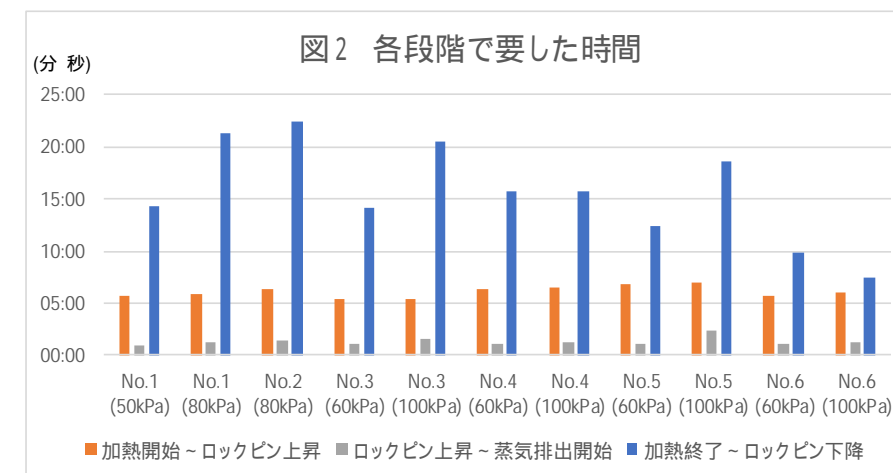
本体取っ手(下側)の表面温度は、どの段階でも20~30程度の銘柄が多く、蒸気排出開始以降40を超えたものが1銘柄(No.6)ありました。50を超える銘柄はなく、短時間でやけどとなるおそれは少ないと考えられます。



### 加熱性能は...

電磁調理器(200V、60Hz)を用いて2L(20±1)の水を加熱したところ、各段階で要した時間は、図2に示すとおりでした。

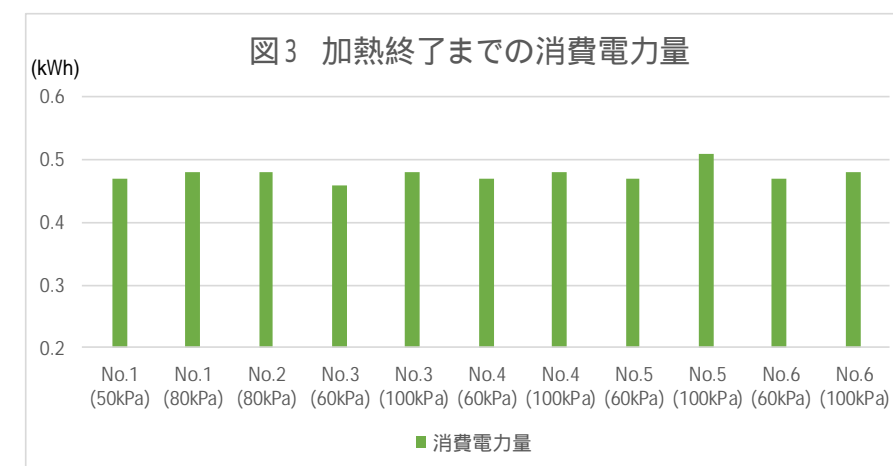
加熱開始からロックピン上昇までの時間は5分26秒~7分03秒の範囲でした。



ロックピン上昇から蒸気排出開始までの時間は、低圧側(60kPa以下)では、53秒~1分06秒、高圧側(80kPa以上)では1分12秒~2分20秒の範囲であり、高圧側で若干長くなる傾向でした。

加熱終了からロックピン下降までの時間は、低圧側(60kPa以下)では、9分50秒~15分46秒、高圧側(80kPa以上)では7分30秒~22分24秒の範囲であり、圧力の切り替えができる5銘柄のうち、設定圧力の高いほうが、時間が長くなるものが3銘柄(No.1、3、5)ありました。

加熱終了までの消費電力量は、図3に示すとおり、0.46kWh~0.51kWhの範囲であり、銘柄及び設定圧力間で大きな差はありませんでした。



### 使用性は... (9人のモニターが圧力なべを操作し、評価しました)

- ・「ふたの開閉はしやすいか」は、ふたの開閉の操作の重い銘柄(No.3)の評価が低く、開閉ハンドルを「起こす-倒す」の操作で軽く開閉できる銘柄(No.6)が高い評価でした。
- ・「ロックピンはわかりやすいか」は、上昇時のストローク(動き)が大きく、動作時に上面よりも上に飛び出す銘柄(No.6)が高い評価でした。
- ・「調理物が入った状態での持ち運びのバランスは良いか」は、圧力なべの持ち運びは、両手で持つように取扱説明書に表示されており、全ての圧力なべには両側に取っ手(片手式の場合は本体取っ手と補助取っ手)が取り付けられているが、安定して持ちやすい両手式の銘柄(No.6)が高い評価でした。
- ・「本体・ふたは洗やすいか」は、圧力なべは通常のなべに比べ重いことから、全体的に低い評価でした。